

武蔵野市気候市民会議

会議の概要

令和 4 年 8 月 29 日 環境啓発施設運営会議

背景

近年、地球温暖化が原因とみられる異常気象が多発
2050年に向けて、私たちの暮らしの中でも、「大きな転換」が必要

武蔵野市気候市民会議

- 地球温暖化・気候危機問題を共有し、脱炭素社会を目指してその対策について話し合っていく場。
- 気候変動問題の当事者としての「気づき」や「行動変容」を市全体へ広げていく

武蔵野市

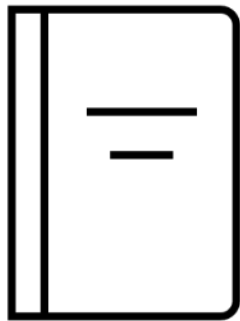
2050ゼロカーボンシティ表明
(令和3年2月表明)

武蔵野市地球温暖化対策
実行計画(事務事業編)
(令和4年4月改定)



気候危機打開武蔵野市民
活動プラン(仮称)
(令和5年4月作成予定)

目指すこと



武蔵野市気候市民会議

無作為抽出などによって選ばれた市民が、
地球温暖化・気候変動対策について話し合う

(全5回：令和4年7月～11月)

- ① 市では、会議の議論を踏まえ、市民一人ひとりの環境配慮行動を示す「気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）」を作成
- ② ご意見を参考に支援の取組を行うことにより、市民の行動を後押し

実施体制

武蔵野市気候市民会議

参加者

68人

アドバイザー

- 東京大学未来ビジョン研究センター教授
国立環境研究所 上級主席研究員
江守正多氏

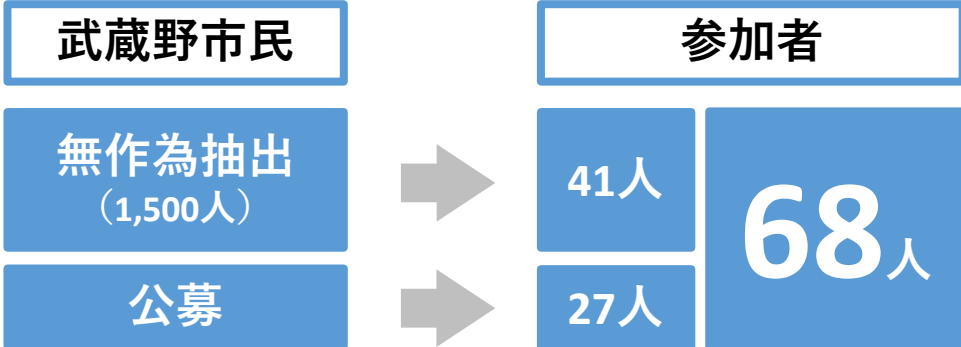
事務局

- 武蔵野市環境政策課

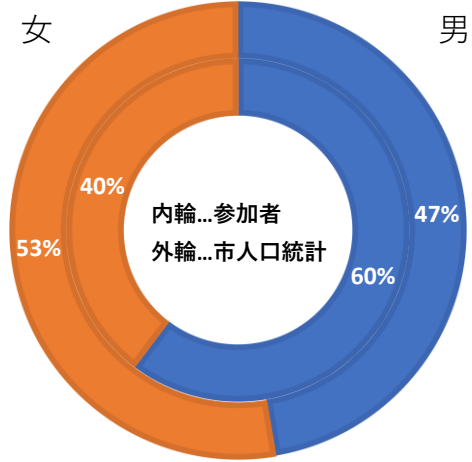
グループ討議支援・オンライン対応

- アオイ環境(株)

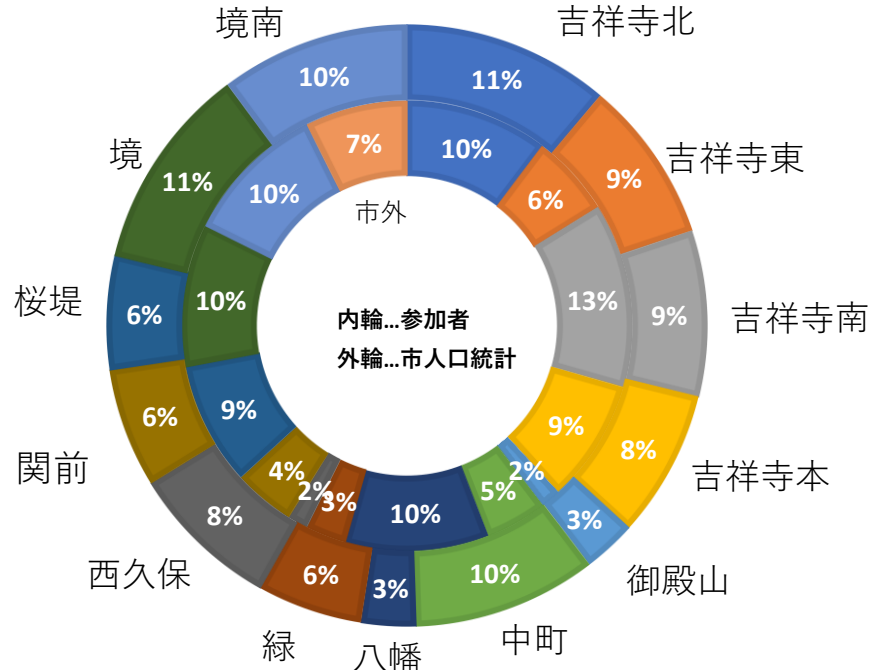
参加者



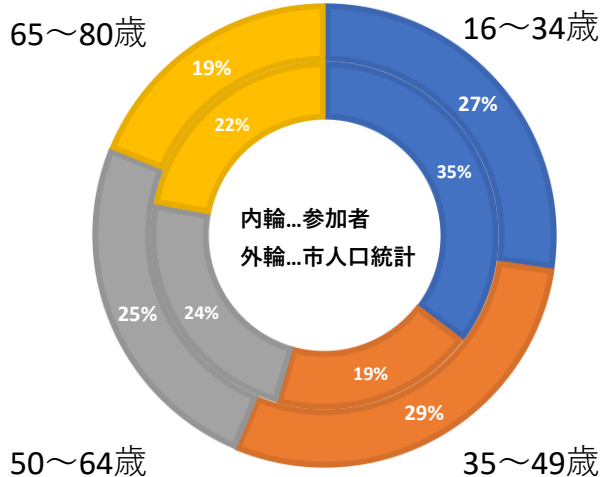
男女比



居住地



年齢構成



全体スケジュール

	第1回 (7月26日)	第2回 (8月23日)	第3回 (9月27日)	第4回 (10月25日)	第5回 (11月22日)
説明	ガイダンス	前回の確認、 本日の進め方	前回の確認、 本日の進め方	前回の確認、 本日の進め方	本日の進め方、 市民活動プラン の作成について
講演 (25分～30分)	講演・対話 地球温暖化の現 状とこれからの 社会 東京大学未来ビ ジョン研究セン ター教授／国立 環境研究所 上級 主席研究員 江守正多氏	テーマ別講演 モノを買う・使 う・手放す (公財) 消費者 教育支援セン ター 柿野 成美氏	テーマ別講演 動く・働く (学 ぶ) ・遊ぶ 国立環境研究所 社会システム領 域 (地域計画研 究室) 室長 松橋啓介氏	テーマ別講演 住まいのエネル ギー 東京大学大学院 工学系研究科建 築学専攻 准教授 前 真之氏	報告等 各回の討議結果、 武蔵野市の特性 武蔵野市 環境政策課
グループ 討議 (65～80分)	2050年ゼロカー ボンシティ実現 後の武蔵野市の 姿	モノを買う・ 使う・手放す	動く・働く (学ぶ) ・遊 ぶ	住まいのエネ ルギー	全体ふりかえ り、投票

参加者交流
目線合わせ

テーマ別のグループ討議

ふりかえり
・まとめ

各回のまとめ方

第1回

第2～4回

第5回

テーマ

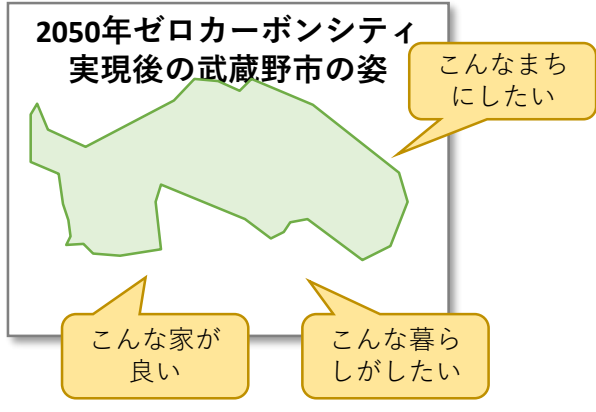
2050年ゼロカーボンシティ実現後の武蔵野市の姿

テーマ別のグループ討議

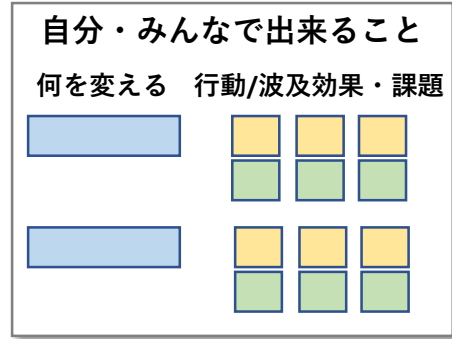
第2回：モノを買う・使う・手放す
 第3回：動く・働く（学ぶ）・遊ぶ
 第4回：住まいとエネルギー

全体ふりかえり
 ・投票

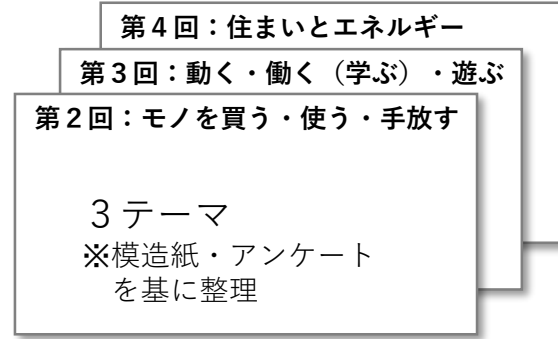
討議結果（模造紙）



×11グループ



3テーマ×11グループ



グループごとに投票

- グループとして大事にしたいこと、優先すべきこと など

結果の整理・分析

各回のアンケートの結果

- 自分グループの討議結果（模造紙）に対する追加の意見・アイデア
- 重要と思ったこと、共感したこと、その理由 など

各回のグループ討議の結果（模造紙）

- 討議結果（模造紙）に対するアドバイザー、講師からのコメント

⇒次回の会議に報告、全体ふりかえりに反映

投票の結果

- テーマ別「市民の行動」（優先順位付けされたもの）
 ⇒市民活動プランへ

終了時アンケートの結果

- 参加した感想、今後生かしたいこと など
 ⇒市民会議の評価

第1回会議の様子



第1回会議 グループ討議の感想

老若男女、多様な他者と地球の最重要課題をディスカッションできる貴重な機会。

世代間の考え方、受け止め方の違いが浮き彫りになったと思う。興味深い意見を聞いた。

楽しいアイデアをたくさん話せた。違う職業で目線の違う方々と話しができて良い時間だった。

もっとほかのグループの発表が聞きたかった。

どうすれば実行できるのか、批判的な意見が出ていたが、建設的に話をしていきたい。

オンラインの難しさも感じたが、互いに意見を言い合い、同じような問題意識を持っている方が多いと感じた。

江守先生が「CO₂ばかりを考えるのではなく、いろいろなことを考えるとよい」という助言があり、共感した。より広い視点で改善策を考えていくとよいと思った。